

第2章 多文化共生推進に関する基本的な考え方

1 多文化共生推進の必要性

愛知県では、2003年3月に策定した「愛知県国際化推進プラン」において、「外国籍県民とともに生きる地域社会づくり」を目標の一つに位置づけ、外国人県民を「生活者」として、ともに地域社会をつくっていく一員であるという視点から、様々な施策に取り組んできました。

人口減少や社会経済のグローバル化の進展により、外国人県民の増加や定住化が進む中で、外国人県民を取り巻く課題も多岐にわたってきました。不就学・不適應の子ども、子どもたちのアイデンティティの尊重などの教育の問題、医療保険や公的年金の未加入者が多数存在するなどの社会保障の問題、外国人県民の地域社会への参加促進など、自治体に取り組まなければならない課題も複雑かつ多様化してきました。今、誰にとっても暮らしやすい多文化共生の地域づくりを一層推し進める必要性が増しています。

また、愛知県の人口見通しは、今後、2015年から2020年にかけて減少に向かい、生産年齢人口(15～64歳)が更に減少する一方で、65歳以上の高齢者の増加が続くと推計されています。人口減少・超高齢社会が到来する中で、地域の活力を維持するためには、外国人県民も含めたすべての県民が能力を発揮できるような社会づくりが不可欠です。

2 多文化共生推進の意義

県民の人権保障

多文化共生の地域づくりの推進は、「国際人権規約」¹⁴、「人種差別撤廃条約」¹⁵、「憲法」¹⁶などで保障された外国人の人権尊重の趣旨に合致します。

国籍や民族などのちがいににかかわらず、すべての県民の人権が平等に尊重され擁護されることこそ、平和で幸福な社会をつくる礎となります。

地域の活性化

社会経済活動全般においてグローバル化が進展する中で、世界に開かれた地域づくりを積極的に推進することによって地域の魅力が高まります。海外から有用な人材を招き地域への定着に取り組むことで、地域社会の活性化がもたらされ、地域産業・経済の振興につながります。

県民の異文化理解力の向上

多文化共生の地域づくりの推進により、地域住民の国際感覚や異文化を理解する能力が向上します。地域での異文化交流が進むことで、新たな価値を見出し、新しい豊かな文化を創造する機会も増えます。また、異文化間のコミュニケーション能力に優れた若い世代の育成を図ることも可能になります。

安全で安心なまちづくりの推進

外国人県民に日本の法令や生活習慣などに対する理解と遵守を促すとともに、外国人県民が交通事故や犯罪などの被害などに遭わないよう様々な情報の提供などの取組を行い、誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりの推進につながります。

ユニバーサルデザイン¹⁷のまちづくりの推進

多文化共生の地域づくりの推進は、言語や文化、能力など様々な特性やちがいを認め合い、すべての人が利用しやすく、また、すべての人に配慮した暮らしやすいまちづくりの推進につながります。

3 プランがめざす愛知の多文化共生社会(プランの目標)

本プランの目標を明確にするため、基本目標を以下のように定めます。

【基本目標】

多文化共生社会の形成による豊かで活力ある地域づくり

【基本目標の考え方】

多文化共生社会の形成の推進により、国籍や民族などのちがいにかかわらず、すべての県民の人権が尊重され、県民一人ひとりが地域社会の対等な構成員として、個人の能力を十分発揮しながら、地域社会の様々な活動に主体的に参加し活躍できる環境づくりが進みます。そして、幅広い分野で内外から多数の優れた人材を引き寄せることが期待され、地域への定着に取り組むことが、地域活力の源になります。

様々な推進主体との連携・協働を図りながら、国籍や民族などの異なる人々がともに安心して生活できる、豊かで活力に満ちた魅力ある地域社会をめざします。

* 多文化共生社会とは

「国籍や民族などのちがいにかかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会」

と定義します。

【行動目標の設定】

基本目標を実現するために、次の3つの行動目標を掲げ、これらの視点から、具体的な施策の方向性と施策の展開を第3章で提示し、推進を図ります。

行動目標

多文化共生の意識づくり

国籍や民族などのちがいににかかわらず、すべての県民の人権が尊重され、県民が互いの文化的背景や考え方などについて相互に理解を深めながら、日本人県民と外国人県民が地域で協力・協働し、ともに暮らしていくという意識づくりを推進します。

行動目標

誰もが参加できる地域づくり

地域で暮らす一人ひとりが地域社会の対等な構成員として、その能力を十分発揮しながら活躍できるよう、地域づくりへの主体的な参加を促進します。

行動目標

外国人県民も暮らしやすい地域づくり

外国人県民の自立を促し、生活全般にわたる支援の充実を図るなど生活環境を整備し、日本人県民と外国人県民がともに安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進します。

..... 愛知がめざす多文化共生社会

国籍や民族などのちがいにかかわらず、
すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、
ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会



